

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取り組みについて

当院では看護職員の負担軽減及び処遇改善を目的として、下記の項目についての取り組みをおこなっています。

1 IOT の活用による業務効率化

- ・ユカリタッチの活用
- ・LINE WORKS の活用

2 多職種との業務量の調整と役割分担の推進

- ・薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、臨床工学部

3 看護師の夜勤負担軽減

- ・夜勤後の暦日の休日確保
- ・看護補助者の夜勤配置
- ・夜勤は連続2回まで
- ・早出・遅出の導入
- ・看護職員夜勤配置加算 12：1 の継続

4 看護補助者の確保と処遇改善

- ・看護補助者への指示書運用開始
- ・非身体介護職員によるベッドメイキング
- ・急性期看護補助体制加算 25：1 の維持
- ・みなし看護補助者を除いた看護補助者比率 5 割以上
- ・夜間急性期看護補助体制加算 100：1 の維持
- ・看護補助者への研修実施

5 救急救命士、病棟クラーク、外来アシスタントの配置

- ・救 急 救 命 士： 救急搬送時の介助・診療の補助・初期対応・検査搬入
- ・病 棟 ク ラ ー ク： 病棟における受付対応や入院業務に伴う事務作業
- ・外来アシスタント： 外来における受付対応や診察室で医師の事務作業をサポート

6 妊娠・子育て中の看護師への配慮

- ・託児所の設置（夜間保育・病児保育）
- ・夜勤免除制度
- ・育児短時間勤務制導入
- ・本人の希望により可能な限り多様な勤務形態の導入